

# 建築に適した高強度の木材を選ぶ

## 要約

丸太段階や製材過程で木材強度を測定し、強度の高いものを選別していくことで、公共建築物の建設に使う強度の基準を満たした製材品を揃えることができます。

## 研究成果の概要

### 1. 背景・目的

スギやアカマツ等の製材品は、丸太の強度にバラツキがあり、建築に必要な強度があるかどうかは製材してみなければ分かりません。そこで、公共建築物に使う製材品を供給する生産現場（製材工場）が強度の基準を満たした材を効率的に製造するための方法を研究しました。

### 2. 内容

- 丸太と製材品の強度には相関があることを確認し、丸太から強度の高い材を大まかに選別することができます。
- さらに、製材過程（乾燥や仕上げの製材をする前）の強度から、仕上げ後（出荷段階）の強度を予測し、基準を満たした材をより正確に選別することができます。
- 製材工場では、この方法を活用することで、製品検査における不合格品（製品ロス）を少なくし、見通しを立てながら製造することができます。

### 3. 活用等

- この技術とともに乾燥技術や品質管理等をまとめた「公共建築部材製造方法の手引き」を作成し、生産現場への普及を図っています。
- この技術が活用されることで、公共建築物への県産材利用が進むことが期待されます。

#### 丸太段階の測定・選別



#### 製材過程の測定・選別



強度の基準を満たした製材品を出荷

## 関連情報

- 「公共建築部材製造方法の手引き」は林業研究所ホームページから入手できます。